

## 2025 年度 地域連携推進会議 議事録(共同生活援助)

事務所名 ; グループホームエース北

開催日時 ; 2025 年 10 月 29 日水曜日 午後 13 時 30~午後 15 時 00

開催場所 ; ワールドユニオンビル 2F

構成員 ; 利用者 2 名	H 様、O 様
利用者の家族 1 名	T 様 T 様
地域福祉に見識を有する方 2 名	K 様 T 様
地域の障害福祉担当職員名	M 様
職員 3 名	長瀬・相澤・畠中

出席者 ; 入居者家族 瀧澤様は当日出席の予定であったが、都合により急遽欠席。

(司会者 ; 相澤 、記録者 ; 畠中 )

- 議題 ; ① 開会  
② 地域連携推進会議の趣旨説明  
③ 構成員の自己紹介  
④ 障害についてのレクチャー  
⑤ 施設とサービスの紹介  
⑥ 利用者の日常生活状況の説明  
⑦ 近隣からの苦情などの共有  
⑧ 経営状況などについて  
⑨ B C P (業務継続計画) の策定状況について  
⑩ 虐待、自己、ヒヤリハットの報告  
⑪ 職員の支援体制  
⑫ 利用者の意向アンケート  
⑬ 施設見学  
⑭ 閉会

## 議事進行

### ① 開会

### ② 地域連携推進会議の主旨説明

- ・利用者様と地域との関係作りや、  
地域の方へ施設や利用者に関する理解の促進等を目的として開催。

### ③ 構成員の自己紹介

### ④ 障害についてのレクチャー

- ・別紙にて、松村代表による説明  
(身体・視覚・聴覚・知的・発達・精神・内部障害について)

### ⑤ 施設とサービスの紹介

現在北区で2か所、東区で1か所の計41室の39名の利用者様がお住いです。お部屋は全てマンションの1室のため個室タイプのGHとなっております。主に夜間の支援として、相談や食事の介護などその他必要な日常生活上の援助を行います。毎日訪室し、体調やお困りことなどの確認、掃除確認や介入、月に1回程度の個別面談や希望者に対して365日のお食事のお渡し、金銭管理等を行っております。コロナの発生以後レクリエーションは現在避難訓練のみの実施しております。今後は徐々に増やしていく予定です。

・T様よりご意見

⇒グランツールに入っている別のグループホームと当グループホームの区別がつかない。  
グループホームの職員である事を紹介して欲しい。皆が住みやすいアパートであってほしい。

・グループホームの回答

⇒貴重なご意見ありがとうございます。他のグループホームとの連携はないが、  
皆さまとコミュニケーションを取りながらやっていきたい。

## ⑥利用者様の日常生活についての説明

グループホームでは朝(8:00)・昼(12:00)・夕(17:00)・夜間(20:00～)巡回させていただいております。

※夜間帯は 20：00～6：00 まで 2 時間置きに各廊下を巡回し物音が聞こえないか等の確認も徹底しております。

### <日中活動先について>

利用者によって日中活動に違いがあるものの、殆どの利用者様は B 型事業所や地域活動支援センターの利用、一般就労(障がい者雇用枠)や A 型事業所に通所されています。その他に 6 割程度の利用者様は精神科訪問看護等を利用し、医療面からも生活を支えてもらっている方が多いです。

### <同行支援について>

単独での外出が難しい方などは職員の付き添いで病院受診や買い物同行等に行く事もあります。

また公共交通機関の利用に不安がある利用者様はスタッフと一緒に乗降の練習をして、移動手段の選択肢が広がるような工夫もさせていただいております。

### <金銭管理>

金銭管理を GH で実施している方が半数以上おり、生活費をその方の能力に応じた方法でお渡ししております。また金銭の状況につきましては 2 か月～3 か月置きにに 1 回出納帳等を利用者様に説明してお渡ししております。

### <服薬管理>

グループホームで服薬管理を希望される利用者様は‘直接お渡し ⇒ 目の前服用’が原則となります（お薬カレンダーを使用されている利用者様は訪問看護スタッフがセットし、空袋をグループホームスタッフへお渡ししていただいております）

Ex) 1 日 4 回のお薬が処方されている利用者様は定時に 4 回スタッフが訪問しております。

日中・夜間帯問わず不調が見られた際は病院からの指示に基づいて頓服提供の対応も行っており、柔軟に対応できるよう薬管理・対応方法は工夫しております。

最近では癌末期と診断された利用者様も生活されている為、‘麻薬’の管理も始まりました。

### <利用者トラブル>

年に数回は警察・救急搬送対応等を行っております。

#### 【警察対応】

- ① グループホームのルールを無視して居酒屋で飲酒。店員・お客様と揉め事をして警察介入。
- ② 無錢飲食・窃盗により警察に保護される等。

### 【救急搬送】

- I.夜間帯の突発的な腹痛・吐血・熱発等、医療の介入が必要となった際には救急搬送対応を行う。
- II.一人で外出中に道端で転倒⇒救急搬送となった際も対応する。  
等、緊急事態が発生しても冷静に対応できるよう、リスクマネジメントの共有を大切にしております。

#### ・H様よりご意見

⇒グランツールの夜勤体制について、20時からであったり、22時からであったり  
ばらつきがあるのはどうしてか。

#### ・グループホームの回答

⇒札幌市では22時～翌5時までの職員の夜勤配置が決まっており、  
早く来れるスタッフと遅く来るスタッフが居るためばらつきがある。  
ただ、札幌市が規定する時間よりは長く居れるように配置はしている。

### ⑦ 近隣からの苦情などについて

#### <北区>

- ① 利用者様が大声を出しているとの通報からクレームが入る。
- ② 歩きたばこをしている場面を目撃されて苦情が入る。

#### <東区>

- ① タバコの吸い殻を下水管に捨てている
- ② 近隣のコンビニで迷惑行為（金銭所持していない利用者様がお客様にお金を要求する等）  
をし、

店舗スタッフよりお叱りのお言葉を受ける。

等、年に数回はクレームがあります。

### ⑨ 経営状況などについて

#### ・別紙にて松村代表説明

(法人概要・当グループホームの運営方針・事業体制・財務状況・昨年度実績・課題)

## ⑩ BCP（業務継続計画）の策定状況について

災害版と感染症版それぞれを策定しており、各事務所にてスタッフに共有・周知しております。

<災害時の避難先>

グループホームエース北（ワールドユニオンビル）

⇒札幌市立北辰中学校

グループホームエース北 26条（グランツール北 26条）

⇒北区民センター

※11/8 に避難訓練実施予定。

<感染時>

発熱等が見られる場合に療養期間が明けるまで対応時にはガウンや手袋、マスク・フェイスシールドなどを着用し対応。

罹患した利用者様が発見された際は、利用者様のニーズ（癌末期の利用者等）に合わせて介入するスタッフを固定する等の工夫をしている。

## ⑪ 虐待、事故、ヒヤリハットの報告

ア.現状、虐待・身体拘束⇒実施した例はありません。

イ.事故⇒突然死・誤薬・忘薬・無断外出時に転倒で札幌市へ報告（過去6回）

ウ.ヒヤリハット⇒お薬提供時に別の利用者様にお渡しし、名前の不一致を発見した際やお弁当の渡し違い、落薬等、支援者側がヒヤッとした際には記録を残すように心がけている。

・T様よりご意見

⇒ヒヤリハット等は月1回提出するのは義務なのか。

・グループホームからの回答

⇒仰る通りです。札幌市に提出しています。

## **⑫職員の支援体制**

<常勤>

14名（夜勤業務が必須）

内、インドネシアから3名、ミャンマーから2名のスタッフが活躍されております。

<非常勤>

4名（フルタイム・短時間のパートタイマー）

<夜勤>

常勤兼務・夜勤専従併せて23名

## **⑬ 利用者の意向アンケート 実施しておりません。**

## **⑭ 施設見学**

- ・グランツール26条へ移動し見学。

## **⑮ 閉会**

- ・全体を通してのご意見・感想。

・T様より感想

⇒このような話しを聞く機会が無い為、大変苦労されているのを知れて良かった。